

指標 10.5.1

指標名、ターゲット及びゴール

指標 10.5.1 金融健全性指標

ターゲット 10.5 世界金融市場と金融機関に対する規制とモニタリングを改善し、こうした規制の実施を強化する。

ゴール 10 各国内及び各国間の不平等を是正する

10.5.1-6 Liquid assets to short-term liabilities

定義及び根拠

○ 定義

このFSIは、分子として流動資産を、分母として短期負債を使用して計算される。比率は、流動資産の幅広い尺度を分子として採用することによっても計算できる。バーゼルⅢを実施している管轄区域の場合、この指標は流動性カバレッジ比率で補完することができる。

○ 概念

流動資産には、通貨及び預金、ならびに要求に応じて又は3か月以内に利用可能なその他の金融資産が含まれる。広範な指標は、中核的指標に流動性のある市場で取引される有価証券を加えたもので、金額の変動は最小限で現金に変換できる。短期とは3ヶ月を指し、残存期間に基づいて定義されるべきである。残りの満期が利用できない場合は、当初の満期を代替として使用することができる。

○ 根拠及び解釈

これは流動資産比率であり、資産と負債の流動性のミスマッチを捉えることを目的としており、流動性の問題に直面することなく預金受入者が資金の短期の引き出しに対応できる程度の指標を提供する。

データソース及び収集方法

全てのデータは定期的に銀行から金融庁（日本銀行）に報告される。全ての銀行の会計データは国内会計規則に準拠している。

算出方法及びその他の方法論的考察

○ 算出方法

このFSIは、分子として流動資産を、分母として短期負債を使用して計算される。

○ コメントと限界

会計基準は一般的に日本基準に従う。

サンプルから除外された銀行は、金額に関しては重要ではない。

データの詳細集計

なし

参考

IMF FSI Compilation Guide Chapter 7. Specification of Core Financial Soundness Indicators for Deposit Takers

<https://www.imf.org/External/pa4158/fsi-guides/chapter-7.pdf>

IMF SDDS Plus Metadata (Japan) :

<https://dsbb.imf.org/sddsplus/dqaf-base/country/JPN/category/FSI06>

データ提供府省

金融庁（日本銀行）

関連政策府省

金融庁

担当国際機関

国際通貨基金（IMF）